

津波ハザードマップ

津波ハザードマップは、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の高さ「津波基準水位」と、「指定緊急避難場所等」、「避難経路」などを表示しています。

※このマップの「津波基準水位」については、青森県が令和3年5月27日に公表した資料をもとにしています。

ハザードマップの解説

- このマップの「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- このマップの「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される「浸水域」と「津波基準水位」を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見をもとに、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 「浸水域」や「津波基準水位」は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、津波基準水位がさらに高くなる場合があります。
- 「浸水域」や「津波基準水位」は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないにご注意ください。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖池内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することもあります。

◆ 町への影響が最短・最大となる津波のシミュレーション条件

- (1) 想定津波： (a) H26日本海F18（右側）想定地震津波（NC17）
(b) 青森県R2日本海溝（三陸・日高）モデル②津波（NC21）
- (2) 構造物条件： 河川堤防、海岸堤防、防潮堤、水門、防波堤などの施設を津波が越流すると同時に、施設の機能が失われると想定
- (3) 潮位： 朔望平均満潮位

マップの見方

津波基準水位

(0.5m以上～1.0m未満)

津波基準水位

(0.3m以上～0.5m未満)

津波基準水位

(～0.3m未満)

※ 津波浸水想定区域にいる方は、区域以外の場所に避難しましょう。津波浸水想定区域の近隣にいる方々も心構えをしましょう。

建物

要配慮者利用施設

道路

マップP9「中里地区②」の一部

津波全体図

